

平成 28 年度高教研学校図書館部会 備前支部協議会司書部会研修会（第 2 回）

日時：平成 28 年 6 月 16 日（木） 10:00～16:00
会場：岡山県立西大寺高等学校 図書室

1. 開会

岡山県立西大寺高等学校長 三善 真校長先生より開会の挨拶

2. 協議事項

- ① 平成 27 年度決算報告・平成 28 年度予算（案）について
岡山工業の二部野さんが監査を行い、改めて予算執行されていることを認めた。
- ② 次回おすすめ本テーマ（海外のミステリー&ホラー、時事問題、フリーテーマ）
- ③ 次回開催校・日付・内容/「プチ紹介」担当校

第 3 回司書部会

開催校：関西高校 日付：8 月 1 日（月） 内容：人に関する研修

「プチ紹介」担当校

岡山大安寺、興葉高校、玉野商業、

3. 諸連絡

- ① 理事会より（井上さんより） 理事：神田（岡山芳泉）/井上（岡山南）/大園（岡山大安寺）
 - ・第 41 回岡山県学校司書研究協議会（倉敷大会）について
参加申し込み締め切りは 6 月 24 日となります。申し込みはなるべく HP からお願いします。
欠席者は大園さんに委任状を提出してください。
 - ・大会冊子の簡素化、HP へのデータ移行について
※冊子で必要なものは理事の方に連絡してください。
 - ・交流会について→交流会の時間が去年から 15:30～16:00 に変更しています。
 - ・平成 31 年（2019）50 周年大会について
※希望する研修、講演にご意見ありましたら理事の方に連絡してください。
 - ・読書感想文の購入について
今年度も引き続き、読書感想文集の各校での購入をお願いいたします。
原則合本を 3 冊以上購入する（備前地区は、1 冊は支部で購入・配付のため、2 冊以上購入）
- ② その他
 - ・6 月 19 日芸文社主催のビブリオバトルが延期。（参加校が少ないため）
※次回 9 月 10 日頃を予定している。
 - ・片山さんが POP 資料保管サイトを作成しました。生徒用 POP 資料でお困りの方はご覧ください。
ご意見、ご希望ありましたら片山さんまで。URL (<http://thaworldwiththapop.jimdo.com/>)

4. プチ紹介

- ① 西大寺高校（A3 の配付資料 1 枚あり）
 - ・図書委員のイベントに力を入れている模様
対外活動（フリー塾、市立図書館「緑の図書室」での展示）
各種講習会（スクラップブックング、UV レジンなどの講習会）
 - ・現在発酵に詳しい先生達に発酵についての講義や実技を図書委員に行い、文化祭で発表する準備をしている。カウンター当番のような発酵まぜまぜ係などができている。
- ② 岡山聾学校（資料なし）
 - ・ラベル貼り作業が終了。生徒が本を探すとき分かりやすいように、丸い色のついたシールを分類ごとに貼っている。
 - ・展示がなく殺風景だったのを、第 1 回司書部会会場だった岡山工業高校の図書室を参考にアレンジ。
 - ・現在分類ごとに大きな見出しを付けることが課題。
- ③ 玉野商業は急遽欠席のため次回司書部会で紹介。

5. おすすめ本の紹介「男子うけする本・女子うけする本」「時事問題」「フリーテーマ」

当日紹介のみだった書籍 ※他にもあったらすみません。これだけしか書き取れませんでした。

『健康で文化的な最低限度な生活』 柏木ハルコ

『中山の日本史C』 中山

『みんなの映画 100 選』 鍵和田啓介

『ハリネズミ飼いになる』(シリーズ) ハリネズミ好き編集部

6. 資料に関する研修(ライトノベルの次の本・新書や専門書の前の本)

5つの班に分かれ、グループディスカッションをする。テーマは、前半：フィクションの本、後半：ノンフィクションの本とする。

① 初めに本を読む意義について、意見交換。

② フィクションの本について、グループ別に話し合い、模造紙を使って発表。

A 班：ゴールの本を進路の就職面接で答えられる本とした。入り口はライトノベルやケータイ小説として、スタートとゴールは別物として考える。就職活動の時期が近づいてきたら面接でも答えられるような本を読んでおき、ライトノベルやケータイ小説もそれはそれとして楽しめば良い。

B 班：10代のライトノベル好きをイメージして、30代40代になってもライトノベルばかり読まないよう、様々な本を選べる大人になれるように導く。

C 班：生徒の目に留める・手に取るように仕向けることが大切。目に留まった本からだんだんジャンルの幅を広げていく。

実践……「次コレ」。図書に『〇〇』が良かったら→『△△』へ」というカードを本に貼っておく。だんだん色々な本に目を向けていくので効果的。

D 班：無理強いではなく、生徒が手に取れるようにしておく。人気本を読んだ生徒が次に何を読んでいるかをリサーチする。

E 班：生徒の語彙が増える本を薦めていく。スタートになる作品から、次の作家を、テーマとしても広がりをもてるようなフローチャートを考える。

③ テーマを ノンフィクションの本 に変え、再度グループ話し合い・発表。

A 班：商業系の就職・進学に関わる本で、面接に答えられる本、自分の言葉で説明できる本に辿り着くことが目標。分野をはっきりさせて、それぞれの分野で最初に読みやすい本を考える。

B 班：工業系・農業系のある学校が多いグループなので、今回は特に農業系に絞り、1年生がどういう本を読み、どうなってほしいかを考える。最終目標は、新聞を読み、理解し、自分の考えが持てること。まずはマンガや絵本から始め、知識がない人向けの本、農業科の伝記、写真・図が多いもので、基礎知識や問題点を理解するための下地をつける。

C 班：化学のおもしろさが1年生からでも分かる本を先生からリクエストされたことを踏まえ、教科につながっていく本を考えた。たとえば化学なら、講演会を開いたり実験をしたりすることで生徒に興味を持たせることが考えられる。

D 班：マンガの次の本、新書の前の本をそれぞれ考えた。新書の前の本としては、入試などに出題された本を集めるなどして生徒の興味を引くという案が挙がった。また、新書を読む前に入り口として読みやすい本の具体的なシリーズ名なども挙がった。

E 班：進路でつかえる新書をゴールとして、新書を手にとったことがない生徒に段階的に読ませるフローチャートを、人物編・レーベル編に分けて作成。

今回の発表で作成したフローチャート等は別途司書部会 HP にアップする。

7. 閉会

以上